

令和6年6月15日

各 位

自由民主党岡山県議団

令和6年度岡山県予算編成に関する
要望に対する措置状況の送付について

謹啓 春暖の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、貴団体から提出されました要望事項につきまして、別添のとおり、措置状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。ご参考までに、回答毎に岡山県の担当部を記入しておりますので、内容の詳細確認等の際にご活用ください。

なお、連名による陳情をされた団体は、代表として貴団体のみに送付しておりますのでご承知おき願います。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。

謹白

《岡山県森林土木建設協会》

令和6年度森林土木関係予算確保等について

1. 森林土木関係予算の確保について

「緑の国土強靱化」や2050年カーボンニュートラルの実現といった大所高所に立った予算編成を念頭に、林野公共（森林整備事業、林道整備事業）予算及び県単独事業（小規模林道整備事業）予算の確保と拡大をお願いします。

併せて、その配分に当たっては、地域ごとの事業量の確保と平準化にもご留意いただくとともに、適正な利潤の確保、適正な工期による発注にもご配慮をお願いします。

2. 情報共有システムの活用について

事務の簡素化及び業務の効率化を図り、長時間労働問題を解消するため、県では情報共有システムの積極的な活用を進めています。森林土木事業においても、システム活用の効果を最大化するよう積極的な利用をお願いします。

3. 設計積算の適正化について

国では、平成24年度から、直接工事費について、施工単位ごとに機械経費、労務費、材料費単価を含んだ標準単価を設定し積算する「施工パッケージ積算方式」を導入しています。工事場所や時期に応じて標準単価を補正して積算するこの方式では、発注者の積算作業の簡素化には効果がありますが、一方で受注者にとっては、現場状況に合わせた柔軟な原価調整が出来ないなど不合理な状況が生じています。

県におきましても、国の制度に倣って実施していることから、例えば、現地照査により歩掛りが柔軟に変更できるようにするなど、実態に即した運用改定をお願いします。

措 置 状 況

1.

森林には山地災害防止や水源の涵養、地球温暖化防止などの多面的機能があり、これらを発揮させる間伐・再造林等の森林整備を効率的に行うには、基盤となる林道の整備が不可欠と考えている。

また、林道は、山村地域における生活道として、さらに災害時には迂回路としての役割も期待されているところであり、開設と併せて、改良による強靱化を推進している。

引き続き、林道管理者である市町村に林道整備を働きかけるとともに、国にはさらなる予算の拡充を要望するなど、各地で必要な林道整備を着実に実施できる予算を確保してまいりたい。

(農林水産部)

2.

情報共有システムは、工事の受注者と発注者の間でインターネットを介して、協議書類や写真、図面等の工事情報を提出、確認、決裁等が行えるシステムであり、書類提出や協議のため県事務所へ出向く時間を削減できることから、時間外労働時間の上限規制が令和6年4月から建設業者にも適用される中、一層有効と考えており、さらなる促進に取り組んでまいりたい。

(農林水産部)

3.

県における設計積算は、国の標準積算基準に準拠して行っており、歩掛かりの柔軟な運用に向けてはご意見を国へ伝えてまいりたい。また、現場に応じた積算については、各現場において発注者と受注者でしっかりと協議を行い、必要に応じてできるだけ柔軟な対応に努めてまいりたい。

(農林水産部)